

1月21日神戸新聞運動面には県高野連優秀選手表彰の様子が掲載され、夏の甲子園大会出場の評価も加わり、日本学生



野球協会表彰を受けた本校野球部元主将後藤選手が代表で挨拶をさせていただき、コメントも掲載していただきました。また1月23日神戸新聞北播版には、19日に実施した加東みらいこども園での園児と野球部の交流の様子が掲載され、とても微笑ましい写真で、応援していただいた方々への期待に応える活動を伝えていただきました。先週末に退寮を済ませた生徒も多く、次のステージに向かう準備を進めていますが、最後にこのような形で

地元の期待に応えることができ、良かったと思えました。記事掲載ありがとうございます。



1月21日は兵庫教育大学講堂をお借りして課題研究・探究学習発表会を実施しました。生徒会の学校紹介に始まり、看護医療類型の小児看護について「気持ちの変化のための一工夫」、1年「廃校になる小学校を再び」、2年富士通の新サービス提案の「ボディコピーについて」、3年の稲坂歯車への提案としての探究をそれぞれ発表。体育科は「体育座りの身体的負荷」、生活科学科は「東条川

疏水で育まれた地域食材を活用した取組」を代表として発表。2部は中学校発表として兵庫教育大学附属中学校2年の今田さんが「アートで空き家を古民家ホテルへ」というテーマで発表。第3部は生活科学科地域連携事業報告として3年地方創生班の「都市農村施設等を拠点とした北播磨『農』と『食』体験事業」及び「加東市民と作る3つの新改革『ひとつづくり』『くらしづくり』『まちづくりについて』」と表彰を受けた2つの発表を行いました。数年前にやしろショッピングパークBioの2階で始まった発表会ですが、旧滝野文化会館、やしろ国際学習塾と会場が大きくなりました。最初は生活科学科、体育科、看護医療類型の発表だけでしたが、総合的な探究の時間の発表も加わり、今年は地元中学校にも呼びかけ発表が実現。課題研究、探究学習の輪が広がってきました。と同時に、発表内容も進化してきました。発表に至るまでの多くの方々の協力や一緒に考えて行くプロセスへの感謝の気持ちも生まれ素晴らしい活動になってきたと思います。中学校の発表を聞くことで中学校の取組を知ることができ、高校生も刺激を受けたと思います。今後は準備を早く進める中で、広報にも努め、より多くの方々に本校の取組をお知らせすることができればと思います。本会の開催にあたっては、加東市観光協会から多大なご協力をいただきました。ありがとうございました。今後も本会の定着を図る中で進化した研究、学習を進めていくことができるようにしていきます。担当された先生方、ありがとうございました。

いよいよ1月も終盤。寒さも厳しくなるようですが、体調管理に努め充実した日々を過ごしていきます。